

一般国道306号 鈴鹿亀山道路に係る新規事業採択時評価

すずか かめやま

- ・ 高速道路アクセス性向上により、安全で確実な物流を支援
- ・ 新たな東西軸の幹線道路整備により、県内・県外の広域連携の強化に資する選択性のあるネットワークの確保
- ・ 高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワーク形成による防災性向上

1. 事業概要

- ・ 起終点：三重県鈴鹿市野辺町
～ 亀山市辺法寺町
- ・ 延長等：約10.5km(第1種3級、4車線、80km/h)
- ・ 全体事業費：約500億円(暫定2車線)
- ・ 計画交通量：約18,700台/日



乗用車	小型貨物	普通貨物
10,700台/日	2,300台/日	5,700台/日

2. 課題

- ①高速道路へのアクセスに時間を要している**
 - ・ 鈴鹿市内は産業集積地であるが、他都市と比較してもICアクセス性に問題を有する。
 - ・ 鈴鹿亀山地域は主要渋滞箇所、渋滞区間、混雑度が1.0を超過する区間が多く存在している。
- ②広域的な道路ネットワークの活用には不可欠な幹線道路**
 - ・ 鈴鹿市・亀山市周辺では、県内・県外を結ぶ幹線道路の整備が順次整備されているが、東西に結ぶ幹線道路が不足し、代替性が確保できない。
- ③くしの「歯」となる強固な東西軸の欠如**
 - ・ 鈴鹿市周辺の国道1号・国道23号は津波浸水による機能不全を想定。

3. 整備効果

- 効果1 高速道路アクセス性向上による安全で確実な物流の支援 [◎]**
- ・ 安全で確実な物流に寄与し、生産性が向上など周辺地域の企業活動の支援が期待される。また、交通転換による周辺道路の渋滞が改善。

・ 鈴鹿市街地から亀山JCTまでの所要時間
現況：26分 ⇒ 整備後 15分 (約11分短縮)

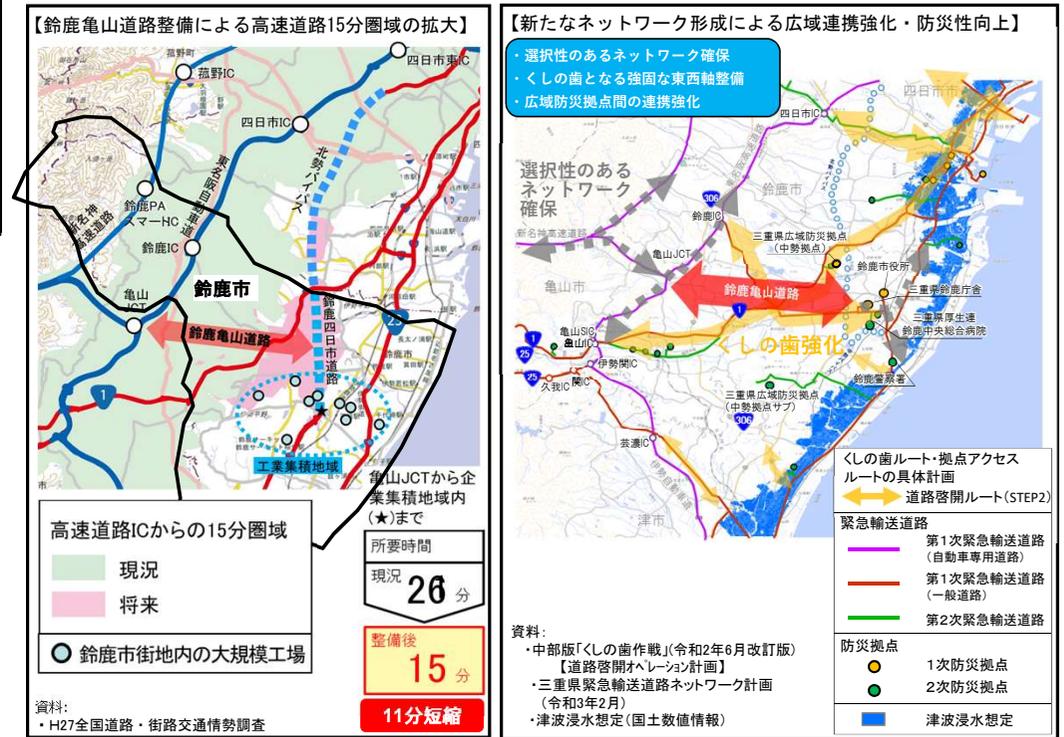
・ 鈴鹿市の高速道路15分圏域
現況：38% ⇒ 整備後：46% (約8%増加)

効果2 広域ネットワークの活用 [◎]

- ・ 新たな東西軸の幹線道路整備により、県内・県外の広域連携の強化に資する選択性のあるネットワークが確保される。

効果3 災害時における東西軸の確保 [◎]

- ・ 高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワーク形成により防災性が向上する。



■費用便益分析結果 (貨幣換算可能な効果のみを考慮し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.9	7.1%	328億円※2	609億円※2

※1：EIRR (経済的内部収益率)

※2：基準年 (R3年) における現在価値を記載 (現在価値算出のための社会的割引率：4%)
(注) 有料道路事業の活用などについて、今後検討を行う予定である。

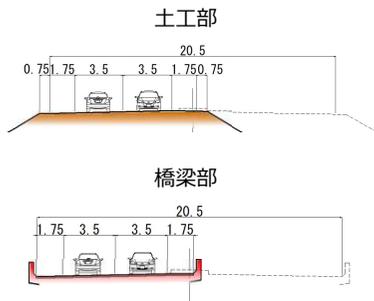
一般国道306号 鈴鹿亀山道路に係る新規事業採択時評価

すずか かめやま

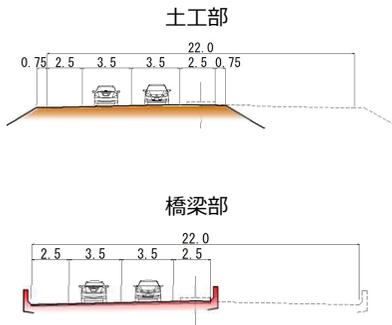


標準横断面図

＜鈴鹿亀山道路＞



＜亀山JCT～料金所＞



計画縦断面図



【鈴鹿環状線の混雑状況】
(汲川原橋南詰交差点付近)



【国道306号の混雑状況】
(徳原北交差点付近)

